

令和5年度府中市立住吉小学校授業改善推進プラン（学校全体の取組）

1 現状及び課題等

(1) 学習改善の視点（児童の学び方）

- ① 学習内容を振り返って理解を深めたり、理解できていなかったことを自ら調べたりする児童の割合が低い。
- ② 学習内容を確実に理解するまで繰り返し学習している児童の割合が少ない。
- ③ 分からない言葉を調べたり、文章問題について図や表で表したり、文章をより理解しようとする割合が低い。

(2) 指導改善の視点（教師の指導方法）

- ① 課題に対して、自分なりの考えをもって主体的に学習に取り組めるようにする。また、自ら学習を進める方法について指導を強化する。
- ② 基礎基本の定着がなされるように個に応じた学習指導の充実を行う。
- ③ 言葉についての理解を深めたり、図や表などを活用したりして文章の理解を深める。

2 学校全体で目指す授業像

(1) 目指す児童の学びの姿

- ① 自分の考えを持ち、主体的に学ぶ児童
- ② 学習内容を理解するまで、繰り返し学ぶ児童
- ③ 言葉の意味や使い方を学び、課題に対して、既習事項や経験をもとに考えることができる児童

(2) 目指す授業像

- ① 課題を自分事として捉え、主体的に学習を進める授業。自ら学びを進めていく学び方を理解させる授業。
- ② めあてを明確化し、よく分かる授業。振り返り・繰り返しによる学力の定着を図る授業。
- ③ 言葉の意味や文章の読解を意識し、図や表なども活用して内容の理解を深める授業。

3 学校全体で取り組む授業改善の具体的な取組

(1) 各教科における授業改善のポイント【全学年共通】

国語	「読むこと」を扱う単元においては、語句の意味や文のつながりを意識しながら人物像や全体像を想像したり、要旨を的確に捉えられたりするよう指導を充実する。	音楽	多くの楽曲に触れさせることを意識し、歌唱や演奏の良い手本とするとともに楽しみながら音楽に親しめる指導を行う。
算数	学習課題について生活に関連付けて捉えたり、具体物や図、表、式を活用して内容の理解を深めたりさせることを意識した指導を充実させる。	図画工作	めあてを明確にし、学習の見通しをもたせることで主体的に学習を進めていけるように指導を行う。
社会	単元を通じた学習課題を児童の言葉から設定し、課題解決に向けた探究活動を主とした授業展開を基本とする。	家庭	基本的な技能で児童が達成感をもてる課題設定を行い、家庭で実践できるよう指導を充実させる。
理科	課題に対し、共通体験や生活体験から根拠のある予想を立てることを意識させ、主体的に学習を進められるようにする。	体育	各単元のめあてを明確にし、スモールステップで個に応じた技能の向上及び運動することの楽しさを味わえるように指導を行う。
生活	学校の教職員や地域、保護者の協力を通して自分との関わりを意識させ、主体的に活動できるようにする。	外国語	イラストやジェスチャーを多く取り入れ、英語表現への理解が高まるように指導を充実させる。

(2) 児童用タブレット端末の活用

- ・理科の実験や生活科の季節の様子、体育科での動きの確認等記録媒体として活用を図る。
- ・社会科や総合的な学習の時間等での調べ活動やまとめ（スライド）として活用を図る。